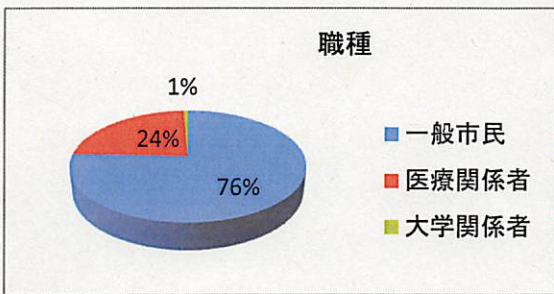
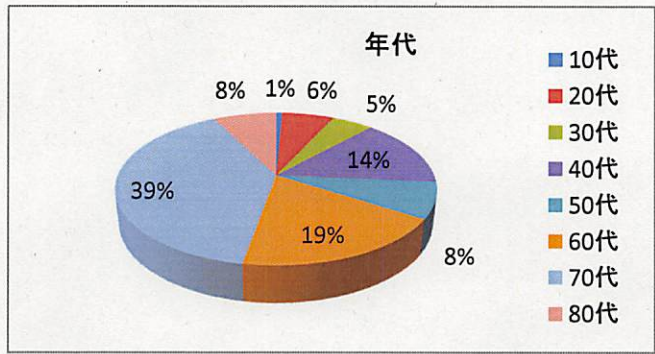
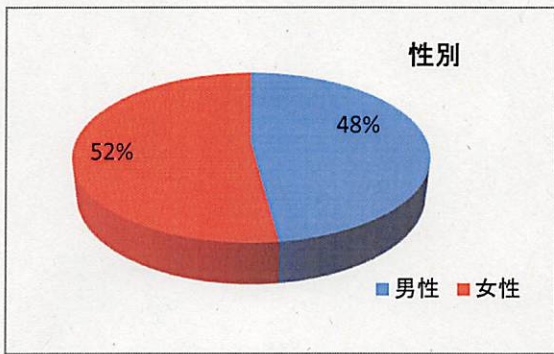


平成25年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業
 2月2日開催 市民公開講座「がん治療を学ぶ」アンケート集計

参加者数 169 アンケート回収 144 回収率 85%

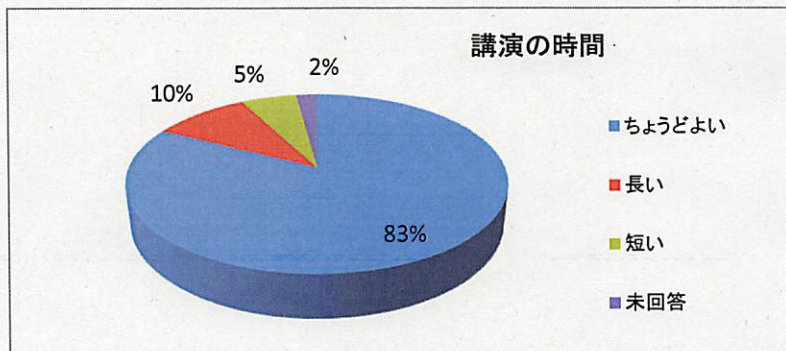
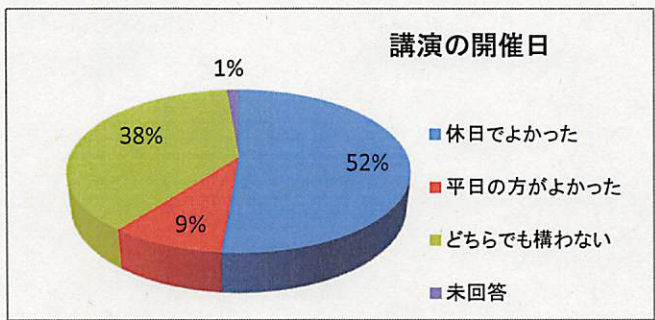
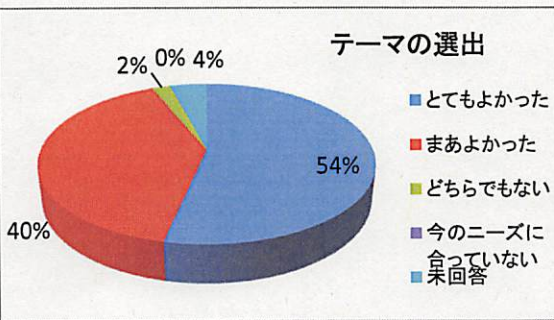
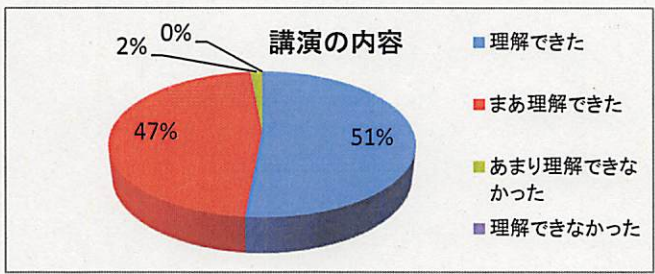
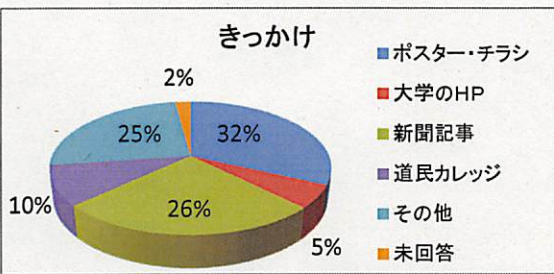


医療関係者職種内訳

医師8.8% 看護師50.0% 薬剤師5.9%
 保健師2.9% SW 2.9% 理学療法士2.9%
 柔道整復師2.9% 事務3.0% その他11.8%

大学関係者職種内訳

職種名記載なし



とりあげてほしいテーマ

【一般市民】

(10代)

- ・がん治療における看護。どのようにQOLを向上していくのか

(20代)

- ・がん治療に対する薬剤師のあり方、又は、それ以外の専門家がチームとして活躍するには、こういった形で治療に参加すべきであるかなどの、専門的な部分も聞いてみたいと思いました
- ・各抗がん剤における費用対効果の比較。患者の立場に立っての治療
- ・治療法に加えて「治療を終えたor経過観察中の患者たちのQOLの向上」というテーマで具体例を知りたい。
- ・各分野の最新医療の講座に加え、「がん医療全体の流れ」というテーマで、がんの部位別に主要な治療法を体系的に知りたい。

(30代)

- ・がん患者の家族がどう向き合うのか？家族のケア、医療代

(40代)

- ・血液疾患、白血病とリンパ腫、移植など
- ・緩和ケアについて

(50代)

- ・がんになった時、どの病院に行くのが良いのか選択に迷う。胃がんなら札幌医大、大腸がんなら社会保険病院が良いなど、どのように病院を選べば良いのか知りたい。
- ・がん発見時の進行度別に完治または入院・通院期間と、治療費について知りたい

(60代)

- ・今後も増加が見込まれるがんとその治療対策
- ・健康診断で出る、指数の意味がわからないので、勉強させてほしい。(悪性域・良性域・中間の意味、見方)
- ・認知症

(70代)

- ・北大で始まる陽子線治療について。全国で行われている、陽子線治療の詳しい内容。実演等を取り上げていただきたい。
- ・薬の上手な飲み方。特に多種類の薬を処方された場合等の副作用とその事例。
- ・肝臓がんの再発について。色々な方法でcellを死滅させても、1年半ぐらいでガンcellができるが、この治療方法は、薬又は何か良い方法は無いものか(薬・食事・食物・その他)？
- ・認知症の予防と介護について
- ・シニア世代ですので、健康の保持と増進には強い関心を持っております。笑いながら楽しく聴けて、今後の生き方の指針と足るような講座もよいかなと思います。
- ・前立腺肥大及び前立腺がんの、早期発見及び治療
- ・最近の膵臓がんや食道がんの早期発見・検査・治療薬
- ・がん治療の将来展望について。ア)胃の移植治療の可能性について イ)胃の再生治療の実現性について
- ・「がん」は早期に発見して治療すれば、完治すると言われているが、主な「がん」(死亡率の高い)と、その対処・治療法等について知りたい
- ・前立腺癌の最新治療法
- ・心臓病について。血栓について
- ・過去に尿管結石を経験した人は心臓の血管が石灰化する率が高いとか。その原因等、注意点等、広く心臓病についてのお話があればと思います。
- ・骨粗鬆症、高脂血症
- ・死亡数の多い肺がんについて知りたいです。最近の新しい治療方法を具体的に教えてほしいです。
- ・私は、悪性リンパ腫で鼻の中に腫瘍ができ、放射線と抗ガン剤を同時に使われ、その苦しみと怠さ、眠れないなどと大変でした。あの苦しさを除去する方法など、もっとくわしく教えて下さい。
- ・民間療法との併用はできないものか

・いつも「がん」ばかりで、1度くらい別なテーマも有難いと思います。血管年齢の高い人は、静脈瘤(手術で抜取る、レーザーで焼く)各々のリスク。できない人はどのような人か？

・人間ドックを受けるのは本当に必要か？ 歌舞伎役者の勘三郎が食道がんの治療中に無くなったというニュースはショックだった。「癌」になったことよりも「治療で亡くなった」という事実である。放っておいた方が長生きできたのは明らかだ。オペには100%安全がないとはいえ、早期発見のために受けた人間ドックがあだになったのだ。

(80代)

- ・①CT検査の放射能被害と対処法 ②基準値を超えている場合の対処法の判断 ③糖尿病の予防・医療・事後療法
- ・泌尿器関係

【医療関係者】

(20代)

- ・肝臓癌について
- ・緩和ケアチームの活動内容について。関わる職種や患者・家族との関わり等についてご講演いただければとおもいます。また、経口摂取が困難になった患者に対する輸液・経管栄養についての講演があれば聞いてみたいと思います。

(40代)

- ・がん治療における治療費について
- ・緩和医療について知りたい
- ・効果ある、最新の治療
- ・女性のがん、乳・子宮治療
- ・女性特有の癌
- ・緩和ケアの病院に入院したら、どんな治療・ケアを受けているのか、わかりやすく取り上げて欲しいです
- ・今日の「緩和医療における最近のトピック」は、大変興味深く、テーマのとおりのことを学びました。がんになった時から、緩和ケアということが、まだまだ一般的に知られていないのが現状と思います。「緩和ケアって何」から教えてもらえればと思います。
- ・緩和ケアは今、話題となっていますが、精神のケアや介護をしていく上でのアドバイスなどが学べると嬉しいと思います
- ・薬剤師として、Ⅰは分子標的についてふれ、勉強になった。Ⅱはやさしすぎ。Ⅲは知らなかった分野。参考になりました。Ⅳは勉強になりました。

(50代)

- ・今後も治療法について学べるもの。その他、住民・患者として病気・治療・死について、どう考え準備・療養生活を送るべきか考える機会となるもの。ホスピス(地域のケアハウスのようなところも含めて)について

全体を通じて、何かお気づきの点などがございましたらご自由に記入してください

【一般市民】

(20代)

- ・レジュメの提供がとても有難い。休憩も有難い。

(40代)

- ・看護的な話も必要かと
- ・講座で使用した画像や関係するデータのあるURLなどをネットで見られるようにして欲しい。内視鏡治療の説明は分かりやすかった
- ・要点をまとめたパンフレットがあり、大変助かりました。次回もよろしく願いいたします。(お水も用意されていて良かったです)
- ・がん治療の進歩を感じました。これからも新しい情報を聞く機会をお願いします。ありがとうございました。

(50代)

- ・今回の会場は休憩時のトイレ、利用者は多いが設備が広く、便器の数も多かったため良かった。
- ・机上に水が用意されており、それはそれで有難いが、コップを倒す恐れもあり、不要と思う。

(60代)

- ・大変結構な内容と進行でした
- ・レジュメがあって再確認できることがよい。
- ・薬の副作用、緩和医療の薬は初めて聞いて良かった。
- ・藤谷先生の動画は迫力があつた。良かった。
- ・一人一人は短すぎた。時間を多く。
- ・講演Ⅱの唯野先生の副作用の資料をもう少しかみ砕いた物をほしかった。厚労省の資料は役人的であり、よくかみ砕かないと理解できない。講演Ⅲは生々しい映像もあり、わかりやすい内容だった。講演Ⅳは単調な話し方でした。話のプロではないですが、ジョーク等を交えて話していただくと、なお良かった。
- ・1番目のお話は、とても分かりやすかった。2番目の講演で配付資料のないスライドで、色々な副作用を長々と説明されたが、文章形式なのでとても見づらかった
- ・がん治療最前線のお話を聞いて大変良かった。まだまだ、他の分野のお話をお聞きしたいと思います。
- ・わかりやすい
- ・がん治療の経緯がわかりました。又、薬による副作用もよくわかり、自分が「がん」になった時の参考になります。しかし、「がん」になったら治療に積極的な気持ちになるかどうか。苦しい治療は望んでおりません
- ・唯野教授のスライド(主な副作用の種類と対策)説明について、レジュメに無いもののがかなりありました。どうしてカットされたのでしょうか？後でレジュメによって復習できなくなり、素人には大変残念に思います。話すスピードも速く、スライドだけでは忘れてしまう部分も多くなります。ネットで公開されるというお答えでしたので、今後、北海道医療大学の公式HPをチェックしていきます。
- ・薬剤に関しては難しく理解できないことが多いが、副作用はかなり分かりやすく良かったと思います。「最近導入された薬たち」も理解しやすいお話でした。

(70代)

- ・緩和医療の説明は、もっと短くていいと思った。緩和医療をうけている人は会場には、あまり来ていないと思う。
- ・抗ガン剤で、国に公認されている薬と、公認されていない薬等の世界を知りたい。国内産と外国産、個人で買い入れできる方法等を知りたい。
- ・前回、総合診療の際の資料について連絡しましたが、大変助かりましたし、お話を聞いていても良く理解できました。今回も同様な資料をいただき大変有難く感謝しております。前回資料を改善されていてよかった。時間的に1時~4時まででは長いし、演題を二つに分けた方は良かったと思います。
- ・唯野先生のところでページが飛んでいたように思ったのが残念です。
- ・診断治療の他に、予防対策についても付け加えていただければと思いました。緩和医療について、理解不十分だった。
- ・学ぶ機会を与えていただき感謝申し上げます。
- ・大変参考になった
- ・最近、「近藤誠 著」のような、がん治療を否定するような本も出ており、その内容を100%信用するわけではないが、中には真実も含まれていると思います。そのあたりはどうなんだろうか？
- ・レジュメがあってよかったです

・資料のメモ欄が良かったです。スクリーンの方が低いため、見えない。(座席フラットなので、1m~1.5m高くすべきでは?)

・4先生とも、きわめて分かり易い解説をされ、改めて、それぞれの症状に対する理解を深めることができ、感謝しております。質問の時間を設けてありますが、時間上の制約もあり、なかなか発言ができません。従いまして、ご無理なことは十分承知の上ですが、各先生ごとの対話の場(別室など)を設けていただければ如何でしょうか。もちろん、全体的には、長時間に及ぶことになるでしょう。(例)講座約3時間、対話約1時間程度

・会場は札幌駅に近い方がうれしい。

・大変ありがとうございました

・講師の方の声が聞き取りにくい(ボリュームが低い)時があり、もう少しボリュームを上げていただきたい

・パンフレットがあり助かりました

・一度受講しましたら、継続してご案内をいただき大変良かったと思います。長く継続して行くことを、関係方の皆様方と共に、今後とも学ばせて下さいますよう、お願いいたします。

・質問者に感心があります。時間が欲しいと思います。

・高齢者が多くなると癌の発生も多くなるのは当たり前のことであると思うので、声高に「癌、癌」という必要もないと思う。若い人の癌は治してやらねばならないが、80歳以上(平均年齢)になってから発見されたのであれば、放っておいてもよいのではなかろうか。何もなくても痛まないと聞いている。へたに抗ガン剤の服用や放射線照射で体力が弱まってくると痛みが出てくるのではなかろうか。高齢者への対応は考えた方が良いと思います。1~2年の延命のために莫大な医療費を使うのもいかがかと思えます。

(80代)

・動画が取り入れられていて、分かり易かった。持ち帰られる資料をもっと詳しく資料にして渡してほしい。

・有意義な市民講座の企画でした。有難うございました。

・内容が多かったので、聞き漏らしもあったので、スライドの内容のコピーがあれば良いと思います。(特に抗ガン剤と主な副作用)

・抗ガン剤と主な副作用:非常に高度な説明で理解に苦しむ。総合的になっているが、取り上げる材料を狭め、もう少し分かり易くしてほしい。

【医療関係者】

(20代)

・薬の話は退屈だった

(30代)

・わかりやすくよかった

・資料の字が小さくて、読めない方が結構いらっしまったので、大きくして頂くとありがたいです

(40代)

・資料の字が小さすぎます。年配の方もいるのでもう少し大きい字の方が見やすいかと思えます。

・レジュメ作成時、見えずらい図のカラーは調整してほしい

・最先端の医療の先生たちを伺うことができ、大変ありがたく、勉強になりました。ありがとうございました。

(50代)

・講師の先生方は大変わかりやすくご説明下さり、理解できました。薬剤のところが、基本的な学習不足のため、やや理解できなかったとは思いますが、新しい薬剤を知ることができました。

・全道的にどこでも同じように治療を受けることが困難です。レベルの高い治療を、地方の人がどう受療できるようにするか、考えていくことも必要と思えます。医療だけの問題ではないと思えます。(予防・早期発見も重要ですが)

・実際の内視鏡の映像を見せていただいて、手術の仕方がわかりよかったです。

・薬剤の効用をよく知り、専門的にわかりやすかった。

(60代)

・レジュメの詳細も多く大変参考となりました

・大変勉強になりました。今の医療がどうなっているのかわかりました。唯野先生の話は具体的で、とても良かったです。すぐに使えます。